

教 育 長 様

研究コース	グループ研究Bコース	選定番号	118
校園コード(代表者校園の市費コード)		511000	

代表者	校園名:	大阪市立滝川小学校	
	校園長名:	民辻 善昭	校印
電話:	6351-1582	FAX:	6351-5502
申請者	校園名:	阿部野小学校	
	職名・名前:	木村 拓也	
電話:	6622-0526	FAX:	6622-9041
代表者校園 事務職員名:	立木 みどり		

### 平成30年度「がんばる先生支援」グループ研究 報告書

◇ 平成30年度「がんばる先生支援」グループ研究について、次のとおり報告します。

1	研究コース	コース名	グループ研究Bコース	研究年数	継続研究(2年目)
2	研究テーマ	<b>自然に働きかけ、見出した問い合わせ他者と関わり合いながら、科学的に解決していく子どもの育成</b>			
		<p>◆ 研究内容のキーワード: 研究の内容をキーワードで記載してください。(【例】学力向上、体力向上等)</p> <p>理科における資質・能力の育成、主体的・協働的な問題解決活動、理科の見方・考え方、対話的な学び、学力向上、授業デザイン、研修会、教員の資質向上</p>			
3	研究目的	<p>○ 理科における資質・能力を育成するための学習指導法の研究に取り組む。市理科部が従来より取り組んできた、子どもが主体的・協働的に問題を解決していく学習を基盤に、「理科の見方・考え方」と「対話」を軸とした授業デザインに取組み、実践を行うことで、更なる理科の学力向上を図る。</p> <p>○ 各種研修会、公開授業、研究報告、討議会を行い、大阪市小学校教員の資質向上と理科指導力向上を図る。</p>			
4	取り組んだ研究内容	<p>いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。</p> <p>○ 子どもが主体的・協働的に問題を解決していく学習場面を充実させた理科学習指導法の研究に取り組み、理科授業の改善を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4~5月……授業改善のための具体的4方策の見直し、具体化</li> <li>・ 5~1月……理科授業の改善を具現化するための指導案作成</li> <li>・ 10月 4日……4年プレ授業実施〔東桃谷小学校〕</li> <li>・ 10月 17日……4年公開授業・討議会実施〔滝川小学校〕</li> <li>・ 10月 22日……6年プレ授業実施〔大空小学校〕</li> <li>・ 11月 8日……6年公開授業・討議会実施〔西淡路小学校〕</li> <li>・ 11月 27日……3年プレ授業実施〔古市小学校〕</li> <li>・ 12月 4日……5年プレ授業実施〔東田辺小学校〕</li> <li>・ 1月 15日……5年プレ授業実施〔古市小学校〕</li> <li>・ 1月 22日……3年プレ授業実施〔平野西小学校〕</li> <li>・ 2月 1日……公開授業・研究発表・討議会・講演会実施〔会場:滝川小学校〕 参加者530名</li> </ul> <p>○ 研究紀要「大阪の理科教育」を発行した。</p> <p>○ 教員の資質向上と理科指導力向上のために、研修会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 8月 21日……「電気の授業で活かせる理科教育セミナー」(日本電機工業会と共に)</li> <li>・ 8月 22日……ドローンを使ったプログラミング実技研修</li> </ul> <p>○ 評価問題集「理科のしんだん」を学期毎に作成し、大阪市立小学校全校に配付した。</p> <p>○ 9月 6日に児童科学自由研究作品検討会を開催し、優秀作品にコメント入り賞状を配付した。</p>			

		<p>申請書に記載した検証方法に基づいて取組を分析し、具体的に記載してください。</p> <p>子どもが主体的・協働的に問題を解決していく学習場面を充実させるための授業改善の具体的な手立てを明確にすることができた。そして、授業改善を図るための指導案を作成し、授業実践を通して、教員の指導力量の向上が図られ、日常の理科授業改善により児童の学力向上が図れた。また、理科授業の改善のための実践的研究の成果を公開授業・研究発表・討議会の機会を3回設けて発信した。参加者から非常に高い評価が得られた。</p> <p>○子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場校の学力経年調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」……とても思う・少し思う 90%</li> <li>・研究授業を実施した学級の児童アンケート「理科の学習が好き」……91%</li> <li>・学力経年調査 理科の平均点 [会場校一大阪市]</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>昨年度⇒本年度</td><td>3年 +7. 5 ⇒ +8. 1</td><td>4年 +3. 6 ⇒ +8. 5</td><td>5年 +7.</td></tr> <tr> <td>5 ⇒ +8. 1</td><td>6年 +4. 4 ⇒ +6. 0</td><td>3～6年平均 +5. 8 ⇒ +7. 7</td><td></td></tr> </table> <p>○教員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「本日の授業で、子どもが主体的な学びができていたと思いますか」……とても思う・少し思う 95%</li> <li>・「本日の授業で、子どもが協働的な学びができていたと思いますか」……とても思う・少し思う 96%</li> <li>・「本日の授業は、今後の理科の授業を行う上で参考になったと思いますか」……とても思う・少し思う 98%</li> <li>・「本日の研究発表は、今後の理科の授業を行う上で参考になったと思いますか」……とても思う・少し思う 99%</li> </ul> <p>○ 10月11月の公開授業では兵庫教育大学教授に指導講評をしていただき、2月の公開授業には文部科学省調査官に指導講評・講演をしていただいた。新学習指導要領に向けての取り組みのポイントをわかりやすく解説する内容であり、大いに参考になった。参加者からも高い評価が得られた。アンケート質問項目の「とても思う」「少し思う」の割合を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本日の講演会は、今後の理科の授業を行う上で参考になったと思いますか。……98%</li> </ul> <p>○ 評価問題集「理科のしんだん」を学期毎に作成して大阪市立小学校全校に配付することで、各校の理科学習の理解度到達度診断を実施し、授業改善に活かしてもらうことができた。</p> <p>○ 1年間の研究の取り組みをまとめた研究紀要「大阪の理科教育」を、2月の公開授業参加者に配付し、各教員・各校の理科指導力向上に役立ててもらった。</p> <p>○ 実技研修会は教員の資質向上・理科指導力向上に役立つ実際的な内容で開催することができた。どの研修会も、日々の理科学習指導に役立つ内容だと好評であり、アンケート質問項目の肯定的評価はどの回も95%以上であった。</p>	昨年度⇒本年度	3年 +7. 5 ⇒ +8. 1	4年 +3. 6 ⇒ +8. 5	5年 +7.	5 ⇒ +8. 1	6年 +4. 4 ⇒ +6. 0	3～6年平均 +5. 8 ⇒ +7. 7	
昨年度⇒本年度	3年 +7. 5 ⇒ +8. 1	4年 +3. 6 ⇒ +8. 5	5年 +7.							
5 ⇒ +8. 1	6年 +4. 4 ⇒ +6. 0	3～6年平均 +5. 8 ⇒ +7. 7								
6	研究発表等 の日程・ 場所・ 参加者数	<table border="1"> <tr> <td>日 程</td><td>平成 31 年 2 月 1 日</td><td>参 加 者 数</td><td>約 530 名</td></tr> <tr> <td>場 所</td><td>大阪市立滝川小学校</td><td></td><td></td></tr> </table>	日 程	平成 31 年 2 月 1 日	参 加 者 数	約 530 名	場 所	大阪市立滝川小学校		
日 程	平成 31 年 2 月 1 日	参 加 者 数	約 530 名							
場 所	大阪市立滝川小学校									